

原子力市民委員会緊急オンラインセミナー

「能登半島地震から問い直す原発稼働の危険性」

2024年1月18日13時～15時半

原発の安全性と能登半島地震 に関するコメント

CCNE技術・規制部会
後藤 政志

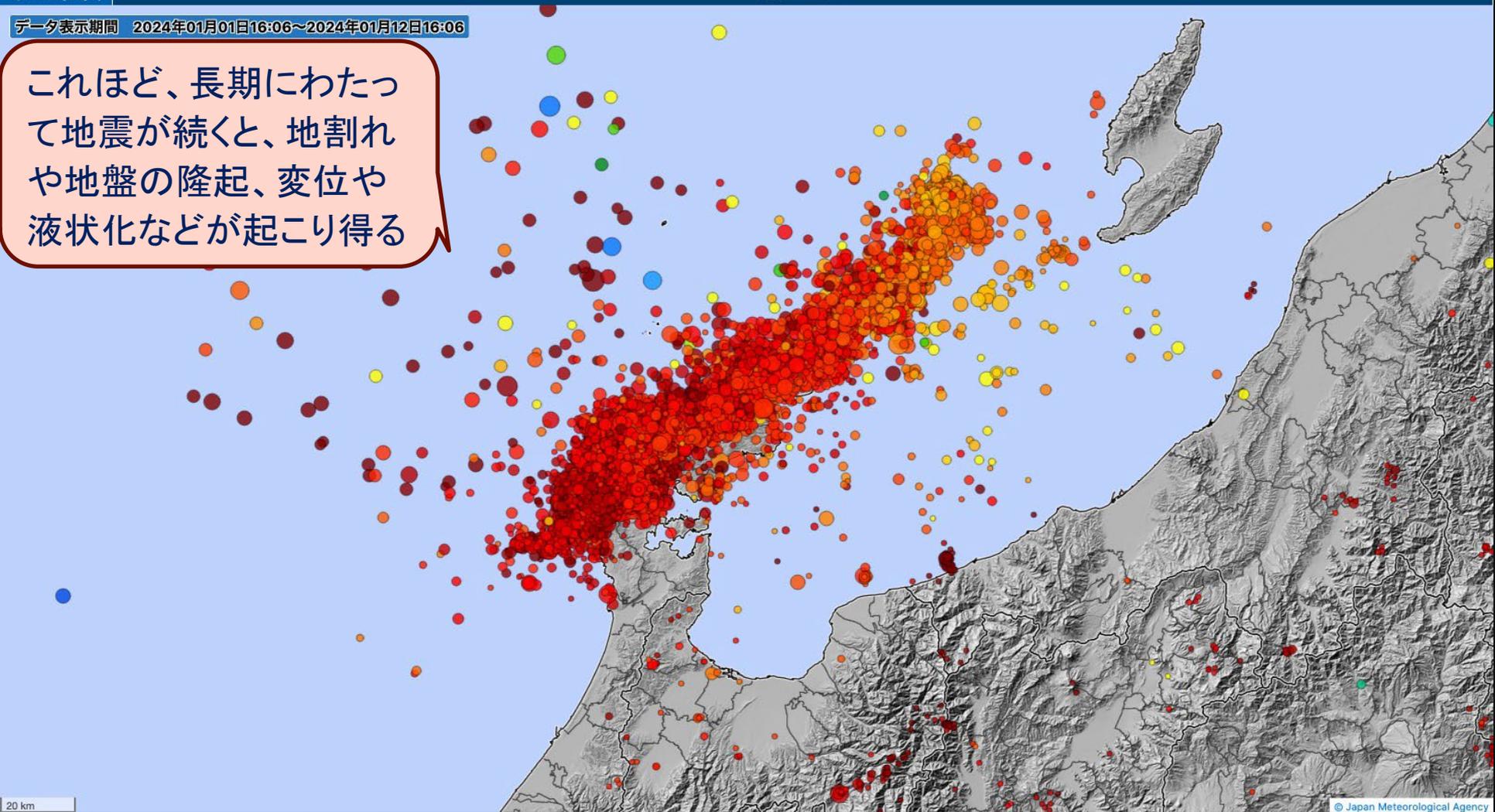
2024年1月1日16時ころ能登半島でマグネチュード5.5の地震発生



その後、16時10最大マグネチュード7.6、震度最大7の地震と拡大

データ表示期間 2024年01月01日16:06~2024年01月12日16:06

これほど、長期にわたって地震が続くと、地割れや地盤の隆起、変位や液状化などが起こり得る



「阪神大震災級」の揺れで被害拡大か
輪島市は西に1.2mずれる ニュース最前線

石川・珠洲市

1月6日



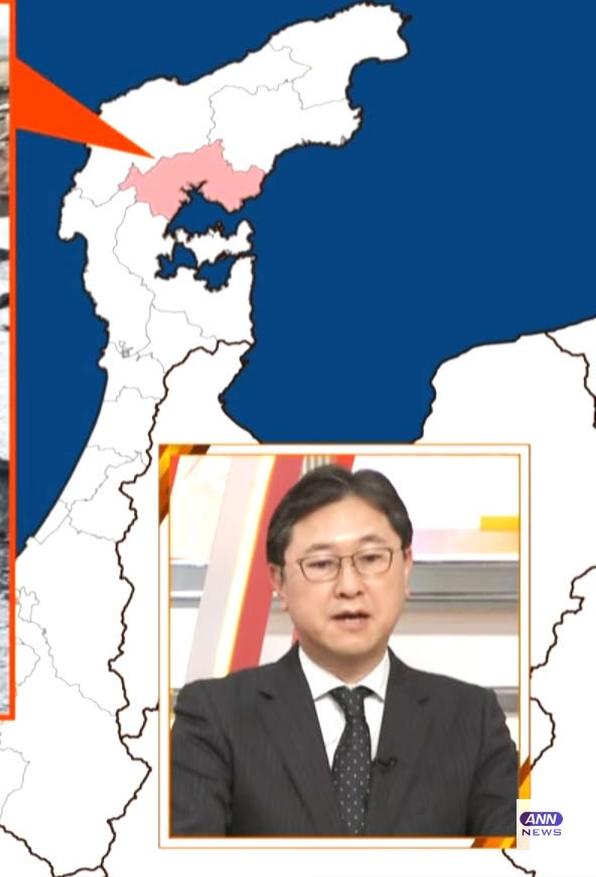
ANN

NEWS

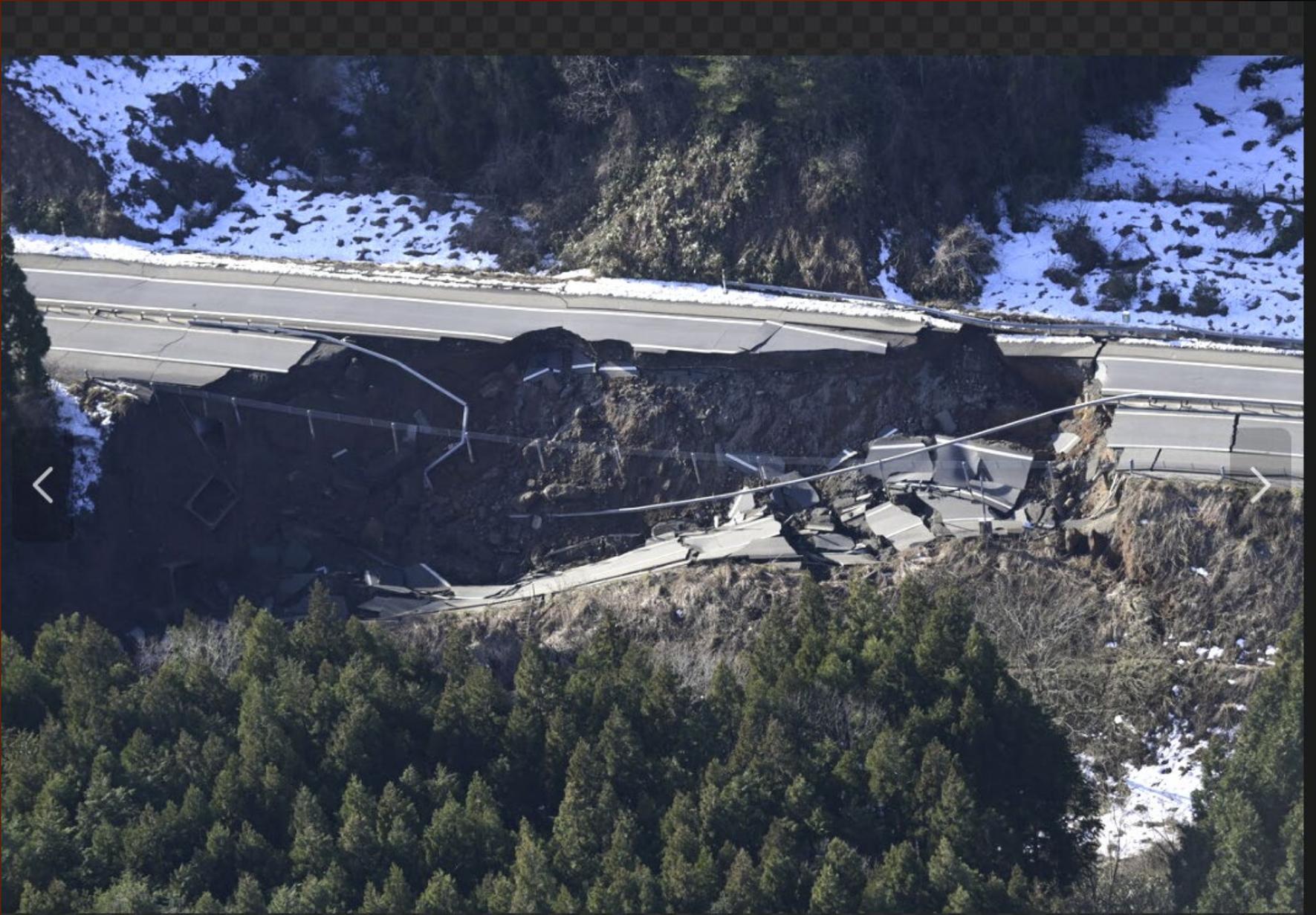
「阪神大震災級」の揺れで被害拡大か
輪島市は西に1.2mずれる **ニュース最前線**



穴水町



ANN NEWS



志賀原発の被害と原発の安全性

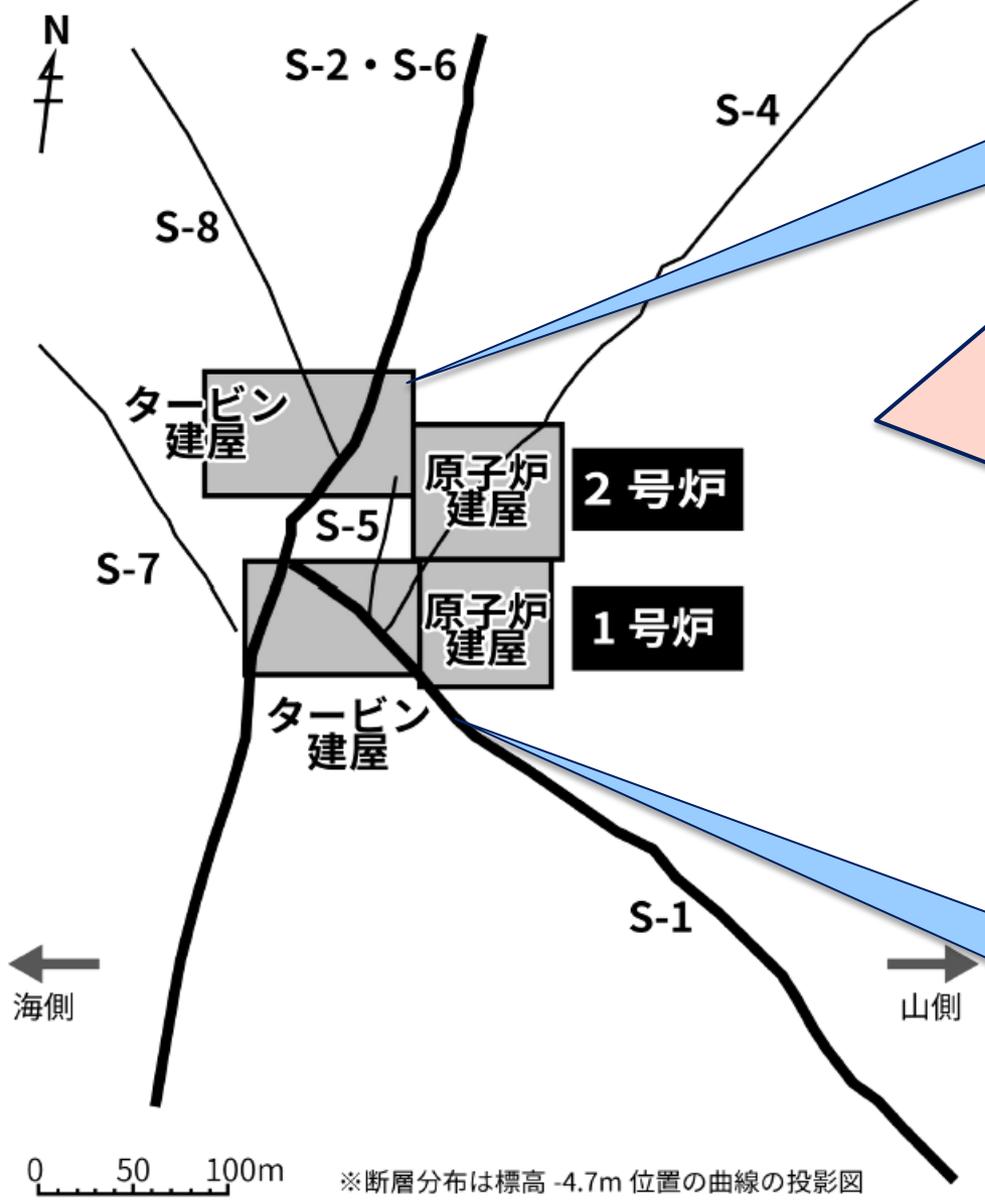
- ◆地震は原発にとってもっとも代表的な自然現象であり、未だに未知の部分がある。地震によって起こる現象をすべて予測できるわけではない。
- ◆阪神淡路大震災以降、地震規模の増大が続き、揺れ方、特に地震動の周期が短周期の揺れから長周期の揺れまで様々な揺れ方をすることが分かってきた。地震の継続時間も長い地震が起き、熊本地震のように、非常に激しい揺れが繰り返し起こることもあった。今回の能登半島の地震も、さらに大きな繰り返し地震が起きている。
- ◆原発にとって脅威なのは、「想定していないことが起こる」ことである。

志賀原発 1号機と2号機



志賀2号炉

志賀原発の建屋配置と敷地内のおもな断層



S-2・S-6断層は、2号炉と1号炉のタービン建屋直下

「敷地内の断層は地震を起こす主断層(起震断層)とは考えられず、より大きな活断層が動いた時に副次的に動くような性質のもの。それぞれの断層トレース全体が地震のたびに動くとは限らない。局所的に断層の活動性を否定しても意味がない。将来の地震で敷地内の断層が動く可能性はある。
(上澤千尋:原子力資料情報室)

S-1断層は、1号炉原子炉建の直下

経済・社会

法的・規範

【外部事象】

自然環境・破壊工作
地震・津波・台風・落雷・火山等

事故

ヒューマン
ファクター

(人為的ミス)

【内部事象】

機器・配管の故障、機能喪失

マスコミは？

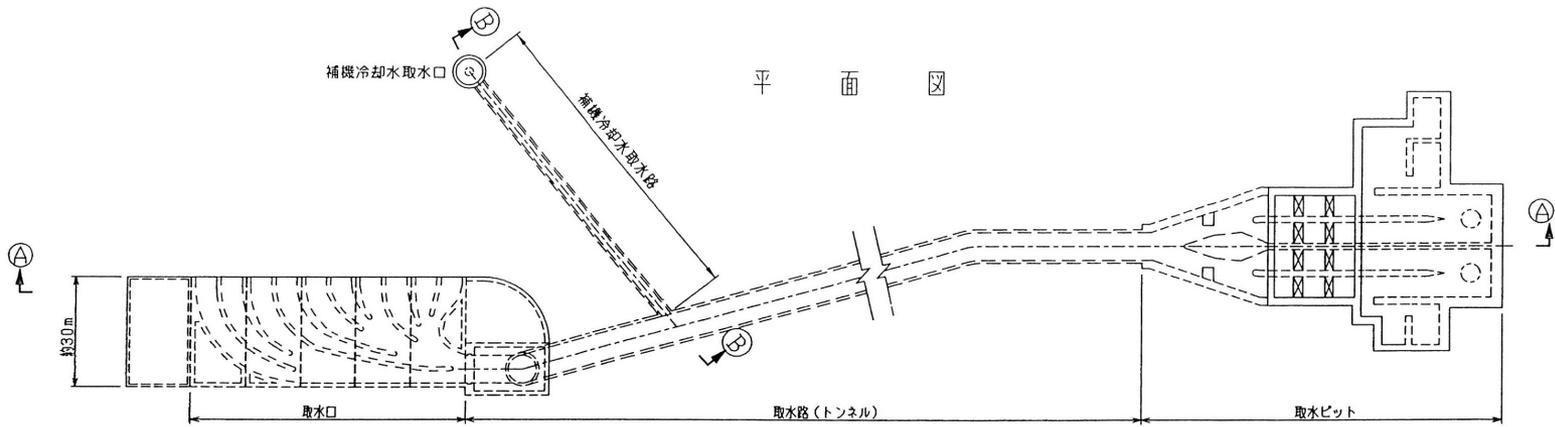
民意？

忖度する日本

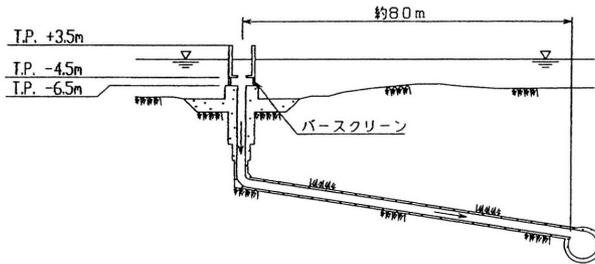
組織・文化のあり方

事故は、地震等外部事象・機器等の故障・人為的ミスが重なって起きる！

各要因が的確に把握できれば事故など起こらない！現実にはすべては予測不可。10

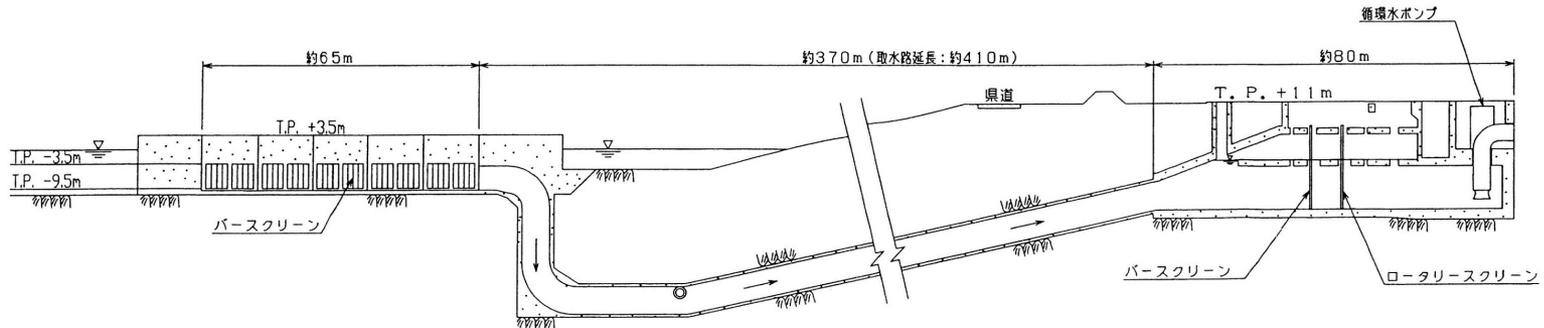


② - ② 断面図



メートル単位の地割れが起きたら、取水口など、どのようになっているか分からない。取水などできないことが十分想定される。

① - ① 断面図



第 2.4-1 図 取水設備概要図

地震国でこれだけの原発(西日本)があるリスク



日本が危ない、複合災害としての原発事故

災害の多い日本で、他に電源があるのに、大事故の危険を冒して原発を使うことは、「**犯罪にも等しい**」。即刻原発は止めないといけない。

原発は、「地割れ」、「地盤の変位」、「隆起や沈降」など起きれば、何が起こるか全く保証できない。原発は、安定した強固な地盤に設置するとしてきた。地盤が大きく移動したり隆起し、大きな地割れが発生する設計上考慮できないし、全くしていない！